

奈良経済同友会入会のご案内

奈良経済同友会事務局

630-8215 奈良市東向中町 6
奈良県経済倶楽部ビル 3 階
TEL0742-22-2525 FAX0742-22-9613
E-Mail : doyu@naradoyu.jp
URL : <https://www.naradoyu.jp/>

奈良経済同友会とは……………

- ◎ 奈良経済同友会は、昭和23年6月、戦後の混乱期の中に創立されました。東京に2年大阪に遅れることわずか1年で全国的観点からみて経済力に決して秀でていたとはいえないが、古い歴史を持つ土地柄の奈良県に日本経済の再建を目指して当時の若手経営者によっていち早く結成されました。
- ◎ 奈良経済同友会は、そのようなことから他の経済団体とは異なり企業経営者が会員として参画する人間中心の経営者集団です。
- ◎ 奈良経済同友会に参画する企業経営者は企業や業界の利害にとらわれることなく、常に「開かれた場」で将来を展望しながら、内外の諸問題につき自由闊達に討議や調査を重ねています。
- ◎ 奈良経済同友会は、こうした成果を会員の企業経営に活かすとともに、「見解」「意見」「報告」「提言」として内外に発表し、世論喚起を図り、政策立案にも多大な影響を与えています。

◇入会資格 —————

奈良県在住の、又は奈良県において活動を行う経済人

◇入会の手続き —————

- ①入会ご希望の場合、本会会員2名から「新規入会 推薦書」を事務局に提出いただきます。
- ②その後、ご本人から「入会申込書」を届けていただきます。
- ③正副代表幹事会の承認を経て、正式に入会が承認されます。
- ④入会承認後、入会に際しての関係書類をご送付いたします。

◇入会に伴うご負担金 —————

- ①入会金：3万円（但し、各地経済同友会からの転入会及び交代入会の場合は不要）
- ②通常会費：年額8万円
（但し、年度途中10月以降入会の場合は4万円）

奈良経済同友会の規模と概要 (令和8年5月11日現在)

[名称] 奈良経済同友会
(昭和23年6月12日創立)

[会員数] 195名

[役員構成]

代表幹事	中村光良	中村建設(株)・社長
代表幹事	近東宏佳	共同精版印刷(株)・社長
副代表幹事	上武敏一	上武建設(株)・会長
副代表幹事	村島靖基	村島硝子商事(株)・社長
副代表幹事	石田諭	(株)南都銀行・頭取
副代表幹事	菊池武之祐	トヨタユニテッド奈良(株)・社長
副代表幹事	松井昭光	(株)墨運堂・社長

ほか 特別幹事5名、幹事等52名
事務局長 中井博章

奈良経済同友会の主な活動

I. 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「人への投資」「DX・生成AI活用」「観光・地域ブランディング」など時流にあったテーマによる講演会・意見交換会・懇親会の開催
- (2) 先進地域・企業の視察および県外経済同友会との交流の実施
- (3) 会員相互の親睦を深めるための家族親睦会、ゴルフ親睦会等の実施
- (4) 海外経済動向を踏まえた海外視察研修の実施

II. 委員会活動の充実・強化

令和8年年頭所感および「あこがれ特区構想」に基づき、大学・行政等と連携しながら、次年度の本格実施に向けた制度設計と実効性のある提言活動を行う。

1. 奈良・新価値創造委員会(仮称・新設)

本社が県外にある企業の支店長・支社長の視点を活かし、奈良の潜在能力と改善点を検証し、外部視点による「課題と魅力」を整理し、行政提言に向けた土台を築く。

2. 産学共創・未来人材委員会(仮称・新設)

「あこがれ特区構想」を具現化するため、大学側と実行に向けた制度設計を行う。

- ・共同教育：大学教員を招き、企業ニーズを教育現場へ反映させる骨子を策定する。
- ・出前講座：経営者が「経営のリアル」を伝える講座の立案について協議する。
- ・企業現場への招致：教員や学生を企業の「会議」や「戦略構築の現場」にゲストとして招く交流の定例化に向け、受入手法等を協議する。

3. 観光活性化委員会

万博のレガシーを活かし、点在する観光資源を交通網で結ぶための具体的提言を練り上げる。例えば、JR 特別列車の大阪・京都からの乗り入れ促進、和歌山方面への延伸など、広域観光経済圏の形成に向けた具体的路線・運行ダイヤ案の策定を行い、交通事業者や行政への働きかけを開始する。

Ⅲ. 会員増強と組織基盤の強化

同友会の存在価値を高め、将来的に活動を担う人材の確保をめざし、若手経営者層を含めた会員増強に取り組むとともに、会員の参画意識向上を図る。

Ⅳ. 当会事業のDX化推進・拡充

- (1) 例会等の案内・出欠管理のデジタル化の推進
- (2) ホームページ・メール等を活用した情報発信の強化
- (3) 生成AI等の新技術活用による事務局機能の高度化

Ⅴ. 「行政およびアカデミアとの密接な意見交換会」の実施

従来の行政との対話に加え、国立・県立大学との対話を「次世代の奈良」を創るための最優先事項として位置づけ、継続的な意見交換を実施し、政策提言につなげる。

Ⅵ. 「ネットワーク」活動の充実

- (1) 全国・西日本・関西の各経済同友会との連携強化および各種会合への積極的参加
- (2) 近隣同友会との情報交換・交流の推進
- (3) 大学、行政、経済団体等との連携強化（産地学官連携の推進）

Ⅶ. 奈良のブランド価値向上と交流人口の拡大

大阪・関西万博のレガシーを活かし、奈良への来訪者を持続的な交流・消費へとつなげるため、観光資源の高付加価値化と戦略的発信、受入環境整備の推進に取り組む。

Ⅷ. 広域インフラ整備の促進

関係諸団体と連携し、京奈和自動車道の早期全線開通およびリニア中央新幹線の整備促進等、奈良の発展に不可欠な広域交通インフラの整備を推進する。

以 上